

# Boy Meets Pusan



武正晴 第一回監督作品

## ボーイ・ミーツ・プサン

柄本 佑  
江口のりこ

川村亜紀  
前田綾花

光石 研

ボクはその街で、恋をした



脚本:窪田信介 撮影:鍋島淳裕 録音:坂上賢治 整音:矢野正人 編集:今井剛 音楽:Tatsuya  
製作:日本出版販売 / プレス / セカンドファウンデーション 配給:プレス 宣伝協力:アルコ・ピクチャーズ  
2006 カラー / DLP / 80分

# プサン国際映画祭から始まった、 プサン・オールロケの青春活劇ムービーが誕生!

韓国の釜山に観光用プロモーション撮影のためたった一人で派遣された新米ディレクターのクリハラ。彼が教えられた言葉は「アンニョンハセヨ、ケナンチェヨ、サランヘヨ」の3言だけ。ガイドとも出会わず右も左もわからない土地で戸惑い彷徨いながら、催中の釜山国際映画祭に紛れ込みこの地の不思議な魅力に楽しさを憶える。そんな時、日本人女性ヨーコと出会い、まるで即席の恋人同士のように一緒に観光する。そしてあっという間に過ぎた3日間、日本に帰る日が近づいたとき、ヨーコがただの観光旅行者でないことを知るのだった・・・



日本映画に欠かせない二人の個性派俳優、柄本佑と江口のりこが  
生き生きと躍動する、まるでドキュメンタリーのような臨場感!

主演は、「美しい夏キリシマ」で鮮烈なデビューを果たし、『17歳の風景!』(若松孝二監督)『子宮の記憶』(若松節朗監督)など主演作も多数、またTVドラマ『東京タワー』『ウォーターボーイズ』などにも出演した注目の俳優・柄本佑。主人公クリハラを自然体で演じています。個人的な日本人女性ヨーコ役には、『月とチェリ』『闇打つ心臓』大ヒットTVドラマ『時効警察』など話題作への出演が相次ぐ江口のりこ。

監督は、『バッチギ』『嫌われ松子の一生』『69 sixty nine』など名だたる作品の助監督を務めてきた武正晴。彼の第1回監督作品となる本作は、監督自身がプサン映画祭に行った時のエピソードが元となったという。映画祭現地の熱狂をそのまま取り込んだ、まるでドキュメンタリーのような臨場感溢れる映像。そしてそこから生まれるつかの間の恋心、挫折、甘く、そしてほろ苦い青春映画が生まれました!



## Boy Meets Pusan ボーイ・ミーツ・プサン

武正晴 第一回監督作品

柄本佑 江口のりこ

川村亜紀 前田綾花 / 光石研

鈴木一功 Kim Young-Ung Park Yeon-Hee Park Byung-Cheol Lee Young-Ha Sin Bong-Seok Lee Jeong-Pyo

製作:古屋文明 / 狩野善則 / 齋藤勇司 プロデューサー:齋藤勇司 / 片山武志 共同プロデューサー:村田千恵子  
ラインプロデューサー:Yang Myoung-Suk 脚本:窪田信介 撮影:鍋島淳裕 録音:坂上賢治 整音:矢野正人 編集:今井剛  
音楽:Tatsuya 音響効果:中村翼 製作担当:若林雄介 衣裳:宮本茉莉 ヘアメイク:酒井香 助監督:橋本光二郎  
主題歌:「a Boy & a Girl」タイムカプセル (作詞:Tatsuya / 永井麻人、作曲:Tatsuya)  
特別協力:釜山フィルムコミッション / 釜山国際映画祭  
製作:日本出版販売 / プレス / セカンドファウンデーション  
配給:プレス 配給協力:トライネットエンタテインメント 宣伝協力:アルゴ・ビクチャーズ  
2006/日本/カラー/ビスタサイズ/80分  
©2006「ボーイ・ミーツ・プサン」製作委員会

9月22日(土)よりモーニング&レイトショー  
特別鑑賞券 1300円(税込)劇場窓口にて絶賛発売中!  
当日:一般1800円 大・高1500円 会員1300円 中小・シニア/水曜1000円  
公式ブログ <http://boymeetspusan.blog114.fc2.com/>

渋谷シネ・ラ・セツ  
Ciné la sept  
文化村通り 舞臺本館前ファンタシビル3F (シネ・ミュージアム)  
TEL 03 (5458) 9267  
<http://www.cqn.co.jp/cinemas>  
※上映時間および舞台挨拶の詳細は、劇場へお問合せください。

